

CURES

NEWSLETTER

地域経済
ニュースレター

1990.7.15 No.16

巻頭言

イルクーツク経済大学での 「地域の社会経済問題に関するソ日シンポジウム」

村田 武

去る3月26、27日の2日間、ソビエト連邦のイルクーツク経済大学で開催された「地域の社会経済問題に関するソ日シンポジウム」に参加した。日本側の参加者は、本学部の山村勝郎教授（3月末に定年退官され、現在は名誉教授）、同じく橋本哲哉教授、富山大学人文学部の藤井一行教授とわたしの4名であった。

昨年夏に、イルクーツク市の姉妹都市である金沢市の招きで研究滞在されたO. G. ドゥブロービン氏（イルクーツク経済大学講師でわが国の農業金融制度や農協制度の専門研究者）と接触する機会があり、国際研究交流を進めようではないかと意見の一致をみたところ、ソビエト側ではさっそくシンポジウムの開催を企画し、われわれに招請状が舞いこんだ次第であった。

イルクーツク経済大学（Irkutsk Institute of National Economy, 1930年創設）が、計画経済学部、財政・金融学部、会計学部、経営工学部、機械工業・運輸交通学部の5学部を擁し、教官380人、学生数3,000人、他に通信教育学生3,500人に達するシベリア・極東地域最大の経済大学であることにまず驚かされた。今回のシンポジウムを直接担当したのは、学部から独立した講座である政治経済学講座であり、講座主任はマリア・ペトローヴナ・ジョーミナ教授というたいへん知的な女史であ

- 巻頭言 村田 武
- CURES Report
 - 「シベリア、モスクワ・レニングラード警見記」 橋本 哲哉
- CURES Salon
 - 「中国華北農村経済研究序説」（経済学部研究叢書4）を刊行して 内山 雅生
- Topic
 - 「多局化」と「多極化」の困難 澤田 幹
- Information Processing
 - 「地理的情報処理の自動化」 若林 芳樹
- 地域経済文献情報

金沢大学経済学部

る。

シンポジウムのソビエト側参加者は、同経済大学やソビエト科学アカデミー・東シベリア支部の経済政策、農業経済論、農村社会学などの分野の研究者、イルクーツク州の地域開発部局の担当官など30名余りであった。シンポジウムは英語を主に、一部ロシア語、日本語を交えておこなわれた。

日本側からは、「環日本海地域における国際交流の現状と将来」

(山村)、「北陸地域におけるシベリア・極東部との貿易・交流の

展開」(橋本)、「北陸地域の産業構造の変化と主要産業の動向」(村田)の3つの報告をおこなった。ソビエト側の参加者はこれまで北陸地域についての情報をほとんど得ていなかったこともあって、深い関心をもって聞いてもらえたように思う。

ソビエト側の熱意もたいへんなものであった。わずか2日間のシンポジウムだというのは、15本もの報告が準備されていた。そのなかで特に興味深かったのは、①「ペレストロイカのもとで、中央と地方間、また各地方間での矛盾が激化しており、地域経済、地方財政や所有制についての地域の自主管理の拡大が求められる。新法制の実際の活用が課題である。」というG.N.マカローヴァ女史(同経済大学教授)の報告、②「地域開発においては地域の多様な条件を前提にすることが重要である。10年前から行ってきたブリヤート人集落を含む生活水準調査から明らかに、低人口密度・散在居住・低所得といった困難な条件のもとにおかれているイルクーツク州農村地域のインフラストラクチュア整備と生活水準引上げが重要な課題である。」とするジョーミナ教授の報告、③「バイカル湖の環境問題は、イルクーツク周辺における工業(化



▲シンポジウムで報告をおこなう筆者

学・石油化学、金属)の産業廃棄物、東岸における紙・パルプ工業の廃水、北部の複合金属工業と生活雑廃水、南岸の紙パルプ工業の廃水、さらに広大な水源をなすモンゴルでの開発による浸食土壌の流入など多くの問題を抱えている。ソ日科学協力としては、熱エネルギーの効率の利用や西岸地域での環境的 pure production などについての協力が期待される。」とする科学アカデミーのA.P.スホードロフ氏の報告などであった。

ソビエト連邦側の、本学をはじめ北陸の学術機関との交流にたいする期待がたいへん大きいことがよくわかった。イルクーツク経済大学との第2回国際シンポジウムを、今秋11月下旬に金沢で開催しようということで合意がなされている。また、同経済大学だけでなくイルクーツク市・州など行政機関からも、研究者の交換、ロシア語・日本語教師の交換、ビジネススクール開設への協力など具体的な提案や要請がなされている。ソビエト連邦シベリア・極東地域との本格的な学術交流の時代に、われわれも立ち後れないようにしたいものである。

(金沢大学経済学部教授)